支笏洞爺ニセコルート　《ウェルカム北海道エリア》　SW−1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

453・530（ﾖｺﾞｻﾝ･ｺﾞﾐｾﾞﾛ）キャンペーンin支笏湖

【概　　要】453（ヨゴサン）キャンペーンは、春の5月30日（ゴミゼロ）と秋の9月30日前後にシーニックバイウェイ「秀逸な道」区間を含む国道453号（ヨゴサン）周辺で、綺麗な空気を吸いながら清掃活動を行いました。平成16年に始まり、今年で20年目になります。活動当初は50名程度だった参加者も企業や団体等のボランティア参加が少しずつ増え、近年は100名を超える活動規模になっています。地元の支笏湖小学校の児童の園地清掃と日付を合わせて開催しています。
【日　　時】令和5年5月30日（火）、10月４日（水）6:30～7:45
【場　　所】集合：千歳市支笏湖温泉街　支笏湖駐車場（バスターミナル）前
実施場所：国道453号支笏湖温泉から千歳・苫小牧市境界（全長約4.5km）
【主　　催】支笏湖まちづくり機構Neoステージ
【協　　賛】一般社団法人国立公園支笏湖運営協議会／支笏湖自治振興会／支笏湖温泉旅館組合／支笏湖まつり実行委員会／支笏湖老人クラブ／支笏湖恵岳会／支笏湖小学校PTCA
【協　　力】自然公園財団支笏湖支部／千歳市／北海道開発局札幌開発建設部
【参加人数】春：120名　秋：120名



▲千歳・苫小牧市境での清掃活動（春）



▲ゴミ収集の様子（春）



▲秀逸な道看板付近での清掃活動（秋）



▲支笏湖温泉街での清掃活動（秋）

支笏洞爺ニセコルート 《ウェルカム北海道エリア》

SW−2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

かわたび × シーニック RIVER CLEAN DAY in Chitose river

【概　　要】支笏湖から流れ出す豊かな生態系を保有する千歳川。支流は水道水、下流域では農業用水として利用されるこの流域は千歳市民には無くてはならぬ存在です。そんな千歳川を次世代に繋げていくために、2021年より市民参加型イベントとしてカヌー等を使用した水辺での清掃活動を開始し、2023年は春は千歳川高速下から千歳市スポーツセンターの区間、秋は道の駅「サーモンパーク千歳」から根志越橋の区間で活動を実施しました。

【日　　時】令和5年5月14日（日）、9月3日（日）／【場　　所】千歳川

【主　　催】一般社団法人かのあ（一般社団法人国立公園支笏湖運営協議会）

【参加人数】5月：10名、9月：15名

＼ RIVER CLEAN DAY ／
活動の動画

一般財団法人 石狩川振興財団　千歳市　かわたび ぼっかいどう　一般社団法人 千歳観光連盟

ATC　土門 哲也　Ocean Days Hokkaido Diving Shop　PADI　秀岳荘













支笏洞爺ニセコルート　《ウェルカム北海道エリア》

SW−3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

千歳ウエルカム花ロードver.２１

【概　　要】年間約2000万人の乗降客を有する新千歳空港。北海道を訪れた方々を花の道で歓迎し、子ども達におもてなしの心を育もうと、千歳ウエルカム花ロードの活動を行っています。平成15年、千歳青年会議所の発案により「千歳エアポート花ロード３６」がスタート。平成１９年、国・道・自治体による「千歳ウエルカム花ロード」と事業統合し、実行委員会を組織して活動を継続しています。 令和5年は総延長約8kmの沿道にサンビリーバブルやジニアなど数種類の花苗を約24,000株植栽し、おもてなしの沿道を演出しました。また、協賛金やクラウドファンディングなど多くの皆様にご協力をいただき、新千歳空港周辺の道を彩りました。

【日　　時】①土起こし：5月16日　※同日花ロード特別授業（緑小学校、千歳小学校）
②花植え活動：5月23日
③除草：（1）6月27日（2）7月25日（3） 9月５日（雨天につきCエリアのみ）
④花苗の撤去：10月17日

【場　　所】千歳市（JR南千歳駅前国道36号周辺、ＪＲ千歳駅前、道道千歳インター線、道道新千歳空港インター線、道央道千歳ＩＣ料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか）

【主　　催】千歳ウェルカム花ロード実行委員会

【参加人数】①92名　②564名　③（1）133名（2）130名（3）50名　④66名



▲ポスター


▲土起こし


▲特別授業


▲花植え活動


▲除草作業

支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW－4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

かわたび×シーニック CHITOSE RIVER CITY PROJECT 「CHITOSE みらいEXPO」

【概　　要】CHITOSE RIVER CITY PROJECTは、千歳市中心部を流れる清流「千歳川」を舞台に2014年から継続的に開催で、今年で10周年を迎えました。今年は「CHITOSEみらいEXPO」と題し、「みらい」をテーマに「まちと環境」に注目して、千歳市の過去と未来がどう変化していくのか、世界がどうなるべきか理解を深めました。２日間に及ぶ開催中は、千歳川周辺の水辺の空間を活用し、世界各国のグルメをキッチンカーで提供。千歳川に面したテラスで千歳高校茶道部による茶道体験が行われたほか、千歳川ラフティング体験や、人気洋画シリーズの車型タイムマシン「デロリアン」の体験搭乗、「SDGs」について学ぶJICAブース、シーニックバイウェイとかわたびほっかいどうのPRブースなど、様々なプログラムを実施。フィナーレには10年後の「千歳みらい予想図」をタイムカプセルに入れ、2033年まで埋設するセレモニーを行い、幅広い年代の来場者が水辺を楽しみました。会場では、

【日　　時】令和5年7月29日(土) 11:00～20:00、30日(日) 10:00～20:00

【場　　所】千歳川　河畔公園・親水公園および河川敷（千歳市清水町4丁目）

【主　　催】一般社団法人 千歳青年会議所　【参加人数】約10,000名

【後　　援】千歳市、千歳市教育委員会、千歳商工会議所、一般社団法人千歳観光連盟、千歳市環境整備事業協働組合、北海道開発局札幌開発建設部、北海道新聞社千歳支局、苫小牧民報社、JICA北海道、シーニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルート

（協力）ミツミ電機株式会社、チトセコ、アミューズメント北海道株式会社札幌本社、北海道千歳リハビリテーション大学、北央三菱自動車販売株式会社







◀CHITOSEみらいEXPOポスター





▲かわたび×シーニック連携の展示ブースの様子



支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

ST−1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

1008 453(とうや よごさん)キャンペーン2023

【概　　要】国道453号が国道に昇格した平成5年度から実施している国道453号沿線の清掃活動を拡大し、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として行っている清掃活動。今年度で20年の節目を迎え、酷暑の中、5コースに分かれてゴミ拾いを行いました。
【日　　時】令和5年8月26日（土）8:30～10:30
【場　　所】伊達市・壮瞥町・洞爺湖町
（国道230号・国道453号・道道2号・道道66号・道道132号・道道578号）
【主　　催】支笏洞爺ニセコルート／洞爺湖エリア代表者会議
【参加人数】60名



▲受付の様子



▲説明：洞爺湖エリア事務局 三松氏







▲開会式の様子



▲各班にて作業箇所の確認





▲清掃活動の様子

支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

ST−2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

有珠山火口探索ツアー

【概　　要】代表的な地域資源である有珠山の迫力と減災の学びを体験する3種類のモニターツアーを開催しました。「有珠山火口原探索ツアー」は、火口原を歩いて活火山を体感し、有珠山の噴火を学ぶコース。
【日　　時】令和5年10月30日（月）9:00～15:00
【場　　所】昭和新山⇒火口原展望台⇒火口原⇒オガリ山⇒銀沼火口⇒I（アイ）火口⇒小有珠南周り⇒北西外輪山⇒木の実の沢⇒金比羅山麓火口（下図のとおり）
【主　　催】洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会
【参加人数】20名









▲左上：開会式の様子　　モニターツアーの様子



▲コース図

支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

ST−3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

他機関との連携によるPR動画の放映

【概　　要】シーニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルート洞爺湖エリアで行われている各種活動及び「秀逸な道」のプロモーションを目的に他機関と連携したPR動画の放映を行いました。
【日　　時】令和6年1月12日（金） ～ 令和6年3月22日（金）
【場　　所】道の駅そうべつ情報館i(アイ)（壮瞥町）／洞爺湖ビジターセンター（洞爺湖町）
【内　　容】下表のとおり

No.	動画の内容	動画の長さ	製作日	備考
01	「秀逸な道」PR動画	0:01:30	2022/9/30	シーニックバイウェイ北海道YouTubeチャンネルにて公開中（A）
02	「秀逸な道」洞爺湖エリア PR動画	0:03:44	2023/4/12	シーニックバイウェイ北海道YouTubeチャンネルにて公開中（B）
03	MOVE洞爺湖2021	0:01:00	2021/5/13	
04	国道230号 沿道景観保全枝打ち管理作業	0:01:19	2021/6/28	
05	国道230号 沿道景観保全枝打ち管理作業 インタビュー動画（三松氏）	0:04:14	2021/12/22	
06	国道230号 沿道景観保全枝打ち管理作業 インタビュー動画（川南氏）	0:01:19	2021/12/22	
07	国道230号 沿道景観保全枝打ち管理作業 インタビュー動画（室蘭開発建設部）	0:01:43	2021/12/22	
08	1008 453(とうや よごさん)キャンペーン	0:00:51	2021/10/8	
09	シーニックナイトin洞爺湖エリア	0:01:23	2021/10/11	



▲道の駅そうべつ情報館i(アイ)での放映



▲洞爺湖ビジターセンターでの放映

公開中の動画（A）

公開中の動画（B）

支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

ST−4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

「秀逸な道」パネル展の実施

【概　　要】全道の「秀逸な道」12区間とドライブモデルコースの周知を行うことを目的に、環境省北海道地方環境事務所洞爺湖管理官事務所との連携による「秀逸な道」パネル展を実施しました。
【日　　時】令和6年1月12日（金）～ 令和6年3月22日（金）
【場　　所】洞爺湖ビジターセンター 2階（洞爺湖町）
【内　　容】全道の「秀逸な道」12区間と「秀逸な道」モデルコースの紹介





▲洞爺湖ビジターセンターの様子

支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

ST−5

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

道路周辺等の雑木駆除活動

【概　　要】シーニックバイウェイによる沿道の景観保全活動として、道路の景観を阻害する雑木（クルミ・ヤマブドウ）等を撤去する活動を兼ねて、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会にて、国道沿道の枝払いを実施しました。活用できる雑木については、加工品として利活用し販売しました。

■沿道の景観を守る枝打ち作業

〇日　時：令和5年6月10日（土）8:30～11:00
〇場　所：国道230号「秀逸な道」認定区間（洞爺湖町）
　　（三豊トンネル～月浦地区の車道外区域）
〇主　催：NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会
　　（ジオパーク友の会手工芸部会）
〇参加人数：約15名





◀枝打ちの様子



▲加工品用に樹皮を剥いでいる様子

■ジオ友手工芸部会籠編み講習会

〇日　時：令和5年11月23日（日）9:00～15:00
〇場　所：道の駅そうべつ情報館i(アイ) 2階研修室
〇主　催：NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会
　　（ジオパーク友の会手工芸部会）
〇参加人数：約20名





▲カゴ編み講習会の様子





▲完成した編みカゴの販売の様子（シーニックナイト in ミナミナ）

支笏洞爺ニセコルート　《洞爺湖エリア》　ST−6

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2024 in そうべつ

【概　　要】地域活動の一つである「シーニックナイト2024」において、地域づくりの人材育成を目的に、室蘭工業大学（Studio催事）の協力のもと、スノーキャンドルの作製やイルミネーションの飾り付けなどを行い、幻想的な光で来訪者をもてなしました。



■シーニックナイト2024 in洞爺湖エリア

〇日　時：令和6年1月20日（土）15:30～18:30
〇場　所：道の駅そうべつ情報館i(アイ)（壮瞥町）
　　地域のあそびばミナミナ（壮瞥町）
〇主　催：シーニックナイト2024実行委員会
　　（支笏洞爺ニセコルート代表者会議／有珠山周辺地域ジオパーク友の会／
　　そうべつ観光協会／そうべつくだもの村 ほか）
〇後　援：壮瞥町／室蘭工業大学／
　　室蘭開発建設部 ほか
〇協　力：室蘭工業大学Studio催事 ほか



Studio催事のSNSによる活動報告▶



▲電子レンジを使った溶岩流実験





▲Studio催事メンバーによる会場演出



▲大盛り上がりの「もちつき」体験



▲web版「そうべつ手帖」

支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》

SN−1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

喜茂別花いっぱい運動

【概　　要】花を通じて人々の気持ちを豊かにとの願いを込めて全国各地で行われている花いっぱい運動。喜茂別町では毎年行われており、５月下旬～６月上旬までに町内各所で花が植えられ、町中が花でいっぱいに彩られる。今年は、50名ほどの参加者が集まり、郷の駅ホッときもべつや役場前道路花壇、国道230号沿花壇などの花植えが行われた。
【日　　時】令和5年5月27日（土）10:00～12:00
【場　　所】郷の駅駐車場、喜茂別町役場前通、国道230号沿線、尻別パーキングほか
【主　　催】きもべつフラワーストリート実行委員会、NPO法人きもべつWAO
【参加人数】約50名





開会式・郷の駅花壇花植えの様子







喜茂別町役場前通





尻別パーキング

支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》

SN−2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

第29回 尻別川クリーン作戦

【概　　要】清流日本一に何度も選ばれており、たくさんの動植物が生息している尻別川での清掃活動。平成7年から始まり、今年で29回目を迎えた取り組みです。感染症対策等を施した上で、町内外から約300名もの方々にご参加・ご協力いただき、ランラン公園から港地区までの約25km区間を、徒歩で河川敷を清掃する班、そしてカヌー30艇とラフティングボート8艇等を使用して河川流域を清掃する班に分かれて清掃活動を行いました。
【日　　時】令和5年6月17日（土）9:00～12:00
【場　　所】尻別川ランラン公園、目名川橋下流、御成橋付近、港地区ほか
【主　　催】蘭越町・NPO法人しりべつリバーネット
【参加人数】約300名









カヌー・ゴムボートでの清掃



サップを使ったゴミ拾い



拾い集まったゴミ



募集用チラシ

支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》

SN−3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

寿都鰊御殿ビューポイントパーキングにおける維持管理活動

【概　　要】令和4年度より、「寿都鰊御殿ビューポイントパーキング」における維持管理活動（草刈・清掃活動）を本格的に開始。寿都町の活動団体メンバーに加え、倶知安町・京極町・喜茂別町の活動団体メンバーとの協働により、ビューポイントパーキング周辺にて活動支援を行った。その後、地域資源の共有を図った。
【日　　時】令和5年7月1日(土) 10:30～14:00
【場　　所】寿都鰊御殿ビューポイントパーキング（寿都町）
【主　　催】寿都町／WAN寿都
【参加人数】約40名










維持管理活動（草刈・清掃活動）の様子　　旧橋本家の見学　　牡蠣試食会の様子

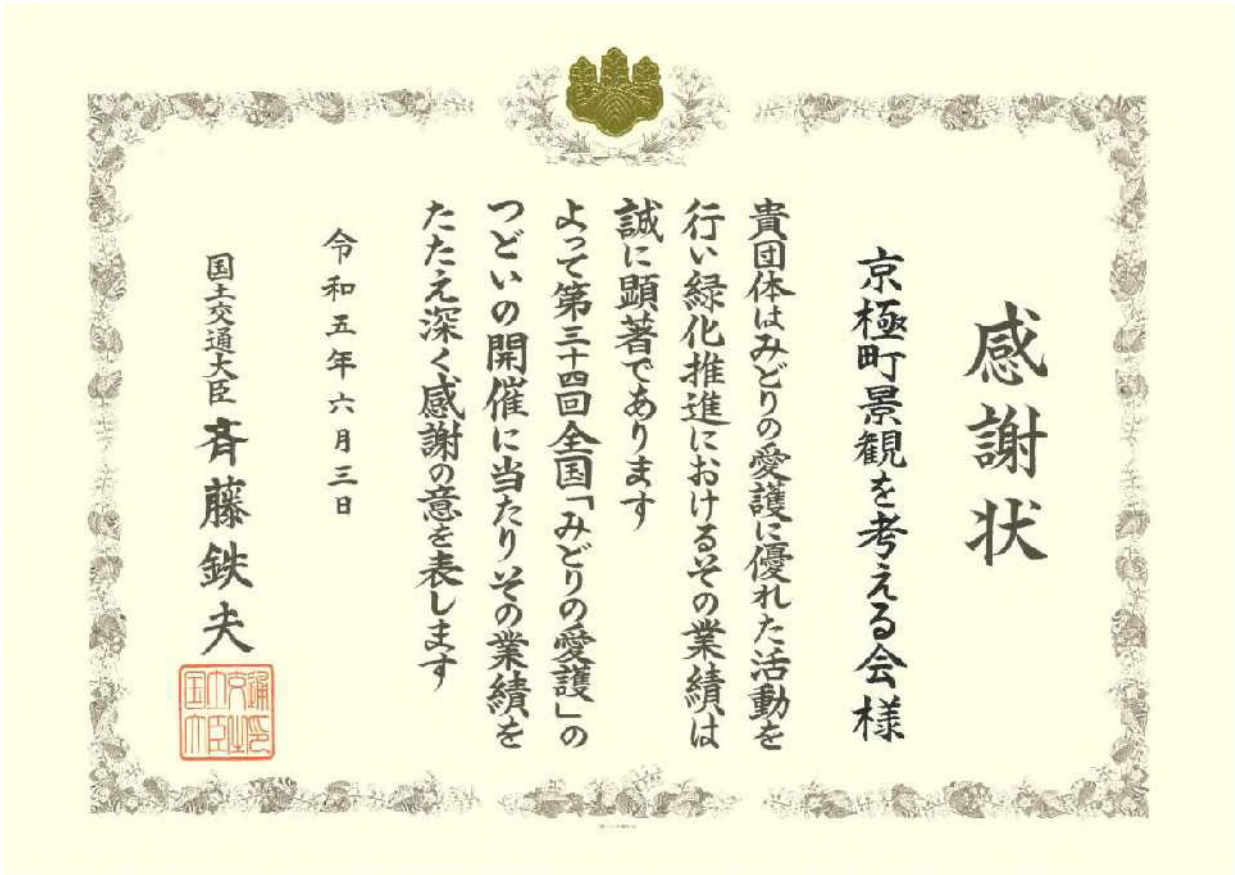
支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》

SN−4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

〈受賞〉第34回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰

- 国土交通省では、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対し、その功績をたたえ、国民的運動としての緑化推進活動の模範として表彰する第34回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰の受賞団体(88団体)を決定した。
- 道内の団体は、札幌市赤十字奉仕団真駒内分団(札幌市)、京極町景観を考える会(京極町)の2団体。
- 表彰式は、令和5年6月3日、北九州ソレイユホール(福岡県北九州市)にて行われた。式典終了後には、勝山公園において記念植樹も行われた。



感謝状

京極町景観を考える会様

貴団体はみどりの愛護に優れた活動を行い緑化推進におけるその業績は誠に顕著でありますよって第三十四回全国「みどりの愛護」のつどいの開催に当たりその業績をたたえ深く感謝の意を表します

令和五年六月三日

国土交通大臣　斉藤鉄夫





支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》　SN−5

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

「秀逸な道」カードの導入に向けた検討・試行

【概　　要】「秀逸な道」やビューポイントパーキングに関するカードを作成し、現地に来訪いただいた方に配布することにより、その道路や地域の魅力を知っていただくとともに、他の「秀逸な道」やビューポイントパーキングへ来訪していただくきっかけとすることを目的に、「秀逸な道」カードの導入に向けた検討・試行を行った。

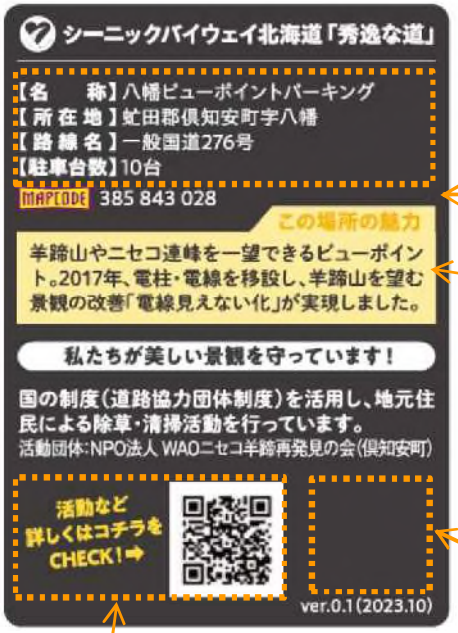
○「秀逸な道」カードの試作 ※ダムカードや橋カードの規格を踏襲
- 規　　格　88mm×63mm
- 印刷仕様　両面：4C、角丸
- 試作対象　相川ビューポイントパーキング（喜茂別町）／更進ビューポイントパーキング（京極町）／八幡ビューポイントパーキング（倶知安町）

◆カードデザインの検討（八幡）

①「秀逸な道」やビューポイントパーキングの写真
（地域活動団体メンバーのおすすめの写真を選定）



カード表面



カード裏面

②「秀逸な道」選定番号・看板デザイン
（全道展開を見据えて選定番号と看板デザインを配置）

③基本情報
（名称・所在地・路線名・アクセス方法・駐車可能台数を明記）

④紹介場所の魅力
（場所の紹介を兼ねた魅力の紹介）

⑤地域活動団体メンバーによる景観保全活動の紹介
（シーニックバイウェイ北海道のYouTubeチャンネルへ遷移）

⑤似顔絵シールの貼付け
（必要に応じて似顔絵シールを貼付け）

◆似顔絵デザインの検討

○「似顔絵シール」の試作
- 規　　格　15mm×15mm四方の正方形
- 試作対象
  - NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会　理事長・事務局長
  - 京極町景観を考える会　会長
  - NPO法人きもべつWAO　理事長


きもべつWAO 理事長　京極町景観を考える会 会長　WAOニセコ羊蹄再発見の会 理事長／事務局長

支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》

SN−6

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

「秀逸な道」景観診断調査の実施

【概　　要】「秀逸な道」を中心とした景観改善の取り組みの継続展開に向けて、景観改善候補及び景観改善課題の抽出等を検討することを目的に、地域活動団体との協働による「秀逸な道」景観診断調査を行った。

■「秀逸な道」景観診断調査

- 日　時　令和5年9月20日（水）13:30～15:45／9月21日（木）13:30～15:30
- 場　所　倶知安町・京極町・喜茂別町（計7箇所）
- 参加者　17名

〈地域活動団体〉WAOニセコ羊蹄再発見の会／ニセコWAO／京極町景観を考える会／きもべつWAO
〈行　政〉倶知安町／喜茂別町
〈学　生〉北海道開発技術センターへのインターン参加学生
〈事務局〉小樽開発建設部／北海道開発技術センター



実施箇所の選定・行程表の作成

＜景観診断実施箇所＞

〇相川ビューポイントパーキング（喜茂別町）
〇更進ビューポイントパーキング（京極町）
〇八幡ビューポイントパーキング（倶知安町）
〇イタドリ防草シート施工箇所（2箇所）
〇舗装補修実施箇所（2箇所）

＜景観診断内容＞

〇景観上で気になった箇所（良いor悪い）のチェックとその理由・改善策
〇全体の印象（5段階で評価）
〇その他、気になること・特筆すべき事項



景観診断シートの作成（全7枚）









「秀逸な道」景観診断調査の様子

支笏洞爺ニセコルート　《ニセコ羊蹄エリア》

SN−7

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

「秀逸な道」看板除幕式（看板お披露目会）

【概　　要】支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリアの「秀逸な道」の起終点における現地案内看板を設置した。設置前には設置予定場所における地域活動団体との協働による現地立会を、設置後には除幕式（看板お披露目会）の企画・検討及び当日の運営を行った。

■除幕式（看板お披露目会）の企画・運営及び運営補助

- 日　時　令和5年7月18日（火）11:35～11:50（喜茂別町）13:00～13:30（倶知安町）
- 場　所　「秀逸な道」起点側（八幡ビューポイントパーキング付近（倶知安町））
  「秀逸な道」終点側（相川ビューポイントパーキング付近（喜茂別町））
- 参加者　約50名〈地域活動団体〉WAOニセコ羊蹄再発見の会／きもべつWAO／京極町景観を考える会
  〈行　　政〉後志総合振興局／喜茂別町／倶知安町
  〈事務局〉小樽開発建設部／北海道開発技術センター



看板模型（実寸大）の使用



起点側での様子



終点側での様子





起点側（倶知安町八幡）での様子





終点側（喜茂別町相川）での様子

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト
～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～

【概　　要】大雪・富良野ルートと十勝シーニックバイウェイ（全３ルート）、ガーデン街道協議会が連携して取組んでいる「人と未来を繋ぐ100年の木プロジェクト」では、継続的に植樹した木の維持管理を実施した。令和5年5月16日、10月10日に植樹した全15箇所、55本の現地確認等を行った。維持管理の状況や今後の活動を検討するために、全体会議を令和5年11月6日に開催した。

【日　　時】総会：5月31日（帯広）　維持管理・点検：5月16日、10月10日
全体会議：11月6日（旭川）

【場　　所】大雪・富良野ルート

【主　　催】北海道の美しい景観を育てる会

【参加人数】全体会議 約20名、植樹 約10名



維持管理・点検の様子





会議の様子

大雪･富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト

【概　　要】平成25年から道北のシーニックバイウェイルートが連携し、ルート内の美しい風景や地域資源を収集することを目的に、道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテストを開催。平成30年度からは学生部門を設けている。
【募集期間】 6月1日～9月30日
【日　　時】 10月17日
【場　　所】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、萌える天北オロロンルート、天塩川シーニックバイウェイ
【主　　催】道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト実行委員会
【参加人数】全応募作品：160作品（うち学生部門11作品）




審査会の様子


※※※　大雪･富良野ルート賞　※※※
【着陸態勢】
撮影者：谷口勝弘

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展

【概　　要】道北シーニック連携フォトコンテスト及び大雪・ルートの風景を一般市民や旅行者にPRするために、過年度のフォトコンテスト入選作品のパネル展を実施した。
【日　　時】旭川地方合同庁舎アトリウム　令和5年10月23日～11月2日
旭川空港　令和5年7月13日～25日、令和6年2月1日～14日
丘のまち交流館bi.yell　令和6年1月15日～25日
【場　　所】旭川地方合同庁舎アトリウム、旭川空港、丘のまち交流館bi.yell
【主　　催】大雪・富良野ルート運営行政連絡会議



丘のまち交流館bi.yell　のパネル展



合同庁舎アトリウムのパネル展

大雪･富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：秀逸な道等に関する情報発信

【概　　要】国道237号深山峠が秀逸な道区間に認定を受けたことをきっかけとして、シーニックバイウェイ北海道や大雪・富良野ルートの認知度を高め、周遊観光を推進するために、スマートフォンアプリやyoutubeを活用した情報発信を実施した。

【日　　時】通年

【場　　所】大雪・富良野ルート内　17か所

【主　　催】大雪・富良野ルート運営代表者会議



秀逸な道（ジェットコースターの路）のyoutube動画



動画情報のチラシ

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：秀逸な道　景観点検の実施

【概　　要】国道237号美馬牛峠から上富良野市街地区間が秀逸な道に登録されたことを受けて、秀逸な道区間の現状を確認し、景観の課題や今後の展開を検討するために、地域と協働による景観診断を冬期に実施した。
【日　　時】 令和5年11月26日
【場　　所】国道237号深山峠（秀逸な道区間）
【主　　催】旭川開発建設部、大雪・富良野ルート運営代表者会議
【参加人数】約8名



上富良野ジェットコーコースターの路での
景観点検のようす



上富良野報徳駐車帯での
景観点検のようす



上富良野大町交差点での
景観点検のようす

東オホーツクシーニックバイウェイ

HIGASI II-OKI IOTSK SCENIC BYWAY

活動名：『シーニックデッキの創出』

【概　　要】景観の良い駐車スペースのあるポイントに、シーニックデッキを設置し旅行者などがゆっくりと景色を眺め休憩する事により、東オホーツク地域全体の景観ＰＲをはじめ、地域との交流や、農産物の特産品販売等、コミュニティビジネスの創出の可能性も高まる。さらに道路利用者のオアシスとして交通安全に寄与する。

【設置箇所】斜里岳山小屋清岳荘（清里町字江南）、メルヘンの丘（大空町女満別）、季風クラブ（斜里町ウトロ）、上斜里南駐車場（清里町札弦）、コミット（清里町水元町）、きよ～る（清里町羽衣町）、あばしりフロックス公園（網走市呼人）、小清水リリーパーク（小清水町元町）、峠の湯びほろ（美幌町都橋）、ウトロポケットパーク（斜里町ウトロ）

【主　　催】東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議



メルヘンの丘（大空町女満別）のシーニックデッキ



きよ～る（清里町羽衣町）のシーニックデッキ

東オホーツクシーニックバイウェイ

HIGASI II-OKI IOTSK SCENIC BYWAY

活動名：R334イタドリ伐採

【概　　要】秀逸な道区間としてのドライバー目線での良好な走行景観の提供等を目的に、東オホーツクシーニックバイウェイ斜里エリアの活動団体である「しれとこウトロフォーラム21」を中心に、網走開発建設部、SNS・チラシで募集したボランティア等により、秀逸な道区間の特徴的な景観資源でもあり、ウトロへのゲートでもある「カメ岩」への眺望景観を確保するように、沿道のオオイタドリの伐採を実施した。
【実施月日】令和５年6月１０日
【実施場所】R334斜里町ウトロ　ウトロトンネル入り口～フンベ川河口付近（約400m）
【主　　催】東オホーツクシーニックバイウェイ斜里エリア（しれとこウトロフォーラム２１）
【参加人数】４５人



▲伐採活動状況



▲参加者記念撮影

東オホーツクシーニックバイウェイ

HIGASI II-OKI IOTSK SCENIC BYWAY

活動名：R243沿道清掃

【概　　要】秀逸な道候補区間として、選定区間昇格に向けた当該区間誘客に資する良好景観の向上・維持を行う目的から、東オホーツクシーニックバイウェイ美幌エリアの活動団体である「美幌歩こう会」を中心に、網走開発建設部、美幌町、民間企業（当該国道維持関連）等により、秀逸な道候補区間における沿道ゴミ拾いを実施。

【実施月日】令和５年６月２日

【実施場所】R243秀逸な道候補区間（美幌町古梅地区の約４ｋｍ）

【主　　催】東オホーツクシーニックバイウェイ美幌エリア（美幌歩こう会）

【参加人数】４５人



▲清掃活動状況



▲参加者記念撮影

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名： 道北ルート連携フォトコンテストの開催（継続）

【概　　要】大雪・富良野ルート、萌える天北オロロンルートとのルートを跨いだフォトコンテスト。
平成29年度から天塩川ルートも加入した。10回目の開催。
【応募期間】令和５年6月1日～9月30日
【主　　催】道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会



チラシ

【グランプリ・萌える天北オロロンルート】 能登屋将宏



作品名：天と地の隙間から

【ルート賞・宗谷シーニックバイウェイ】 林真之介



作品名：利尻山と観光列車

これまでの応募作品数

ルート名	応募作品総数									
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
大雪・富良野ルート	35	49	69	23	58	71	88	95	82	54
宗谷シーニックバイウェイ	38	49	95	40	35	80	76	148	47	45
萌える天北オロロンルート	44	51	43	29	31	55	72	61	57	35
天塩川シーニックバイウェイ	－	－	－	－	7	48	46	44	22	26
対象外	3	9	6	0	2	0	0	0	0	0
合計	117	149	213	92	133	254	282	348	214	160

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名： 道北ルート連携フォトコンテストのパネル展の開催（継続）

【概　　要】道北ルート連携フォトコンテストや道北の美しい風景をPRするために、フォトコンテストの入選作品のパネル展を開催した。
【主　　催】道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会
【開催場所】道の駅「北オホーツクはまとんべつ」、稚内市「キタカラアトリウム」、豊富町「ふらっと★きた」、稚内市図書館

パネル展開催日程

開催箇所	日程
道の駅「北オホーツクはまとんべつ」	6/12～6/23
稚内市「キタカラアトリウム」	7/28～8/18
豊富町「ふらっと★きた」	8/21～8/31
稚内市図書館	2/6～2/16

豊富町「ふらっと★きた」



道の駅「北オホーツクはまとんべつ」



稚内市図書館

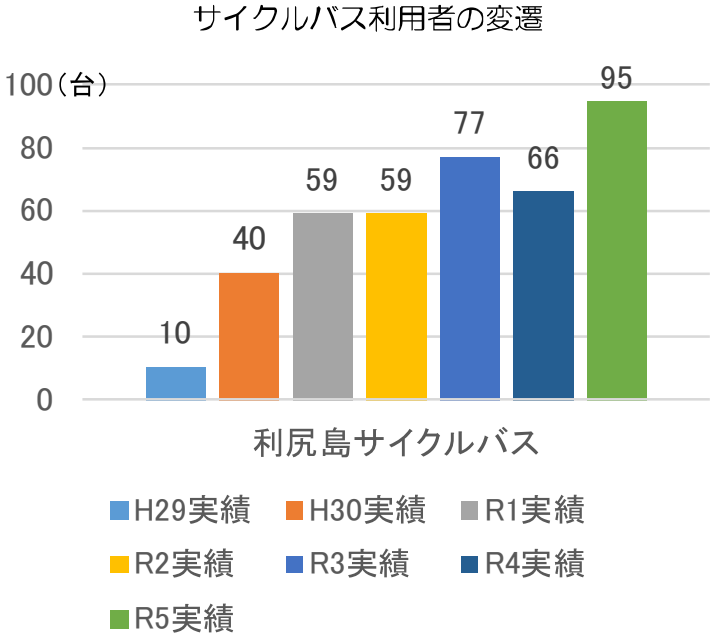


宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻島での自転車・バスの周遊観光実験（継続）

【概　　要】絶景と約25kmにも渡るサイクリングロードを有する利尻島を、サイクリング適地と位置づけ、ライト層であっても気軽に利尻島約60kmを1周できる仕組みづくりを行う。平成29年度の実証実験を経て、平成30年度から本格的にサービスが開始した。
【実施期間】通年
【自転車積載回数】：95台回
※H29実績 12台回（平成29年8月1日～10月31日）、H30実績 40台回（平成30年4月21日～10月31日）、 R1実績 59台回（令和元年4月21日～10月31日）、R2実績 59台回（令和2年4月21日～10月31日）、 R3実績 77台回（令和3年4月21日～10月31日）、R４実績 ６６台回（令和４年4月21日～10月31日）、R5実績 95台回（通年）







自転車を積載している様子



車内で掲示されている利用案内





自転車を固定している様子

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：秀逸な道（宗谷ヒストリーロード）清掃活動（継続）

【概　　要】国道238号「秀逸な道」声問区間（稚内空港周辺の３キロ区間）における沿線の美化活動。令和元年度から実施し、令和５年度で５回目となった。秀逸な道の清掃活動には、山本建設㈱、稚内印刷㈱、稚内ローターククラブ、稚内信金、稚内市、稚内開発建設部の68名が参加した。

【日　　時】令和5年8月31日

【場　　所】稚内市声問

開会式の様子





声問区間の集合写真



声問区間の清掃活動



声問区間の清掃活動





宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：ナショナルサイクルルートに向けた視察受入れ

【概　　要】天塩川シーニックバイウェイと連携し、ナショナルサイクルルートに向けて金籠史彦（前自転車活用推進本部事務局次長）の招聘するとともに、地域の意見交換会を開催した。

【日　　時】令和5年5月20日（土）、21日（日）

【場　　所】1日目／①視察／旭川駅・旭川観光物産情報センター、②自転車試走／道の駅もち米の里なよろ⇒ピヤシリ大橋、③カヌー体験／ピヤシリ大橋⇒スーポロの碑、④勉強会

2日目／⑤車窓視察／大規模草地牧場⇒豊富駅、⑥視察／豊富駅インフォメーション、⑦視察／稚内駅、⑧視察／宗谷アクティブバス、⑨視察／宗谷岬ツアーセンター　Base Soya、⑩車窓視察／宗谷公園⇒宗谷岬、⑪視察・試走の振り返り


旭川駅視察


名寄自転車試走


名寄・勉強会


旭川駅視察


天塩川カヌー体験


Base宗谷視察

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：富士山山麓のアドベンチャーツアーへの参加・報告会・意見交換会開催

【概　　要】富士山の世界文化遺産と山麓の暮らしを組み合わせ、本当の姿を体感するアドベンチャー型・富士山麓巡礼ヘリテージツアー造成を目指したモニターツアーに参加するとともに、モニターツアー報告会・意見交換会を開催した。

【日　　時】モニターツアー／令和5年11月28日（火）～12月1日（金）
報告会・意見交換会／令和6年2月7日（水）


富士山麓を3日かけて走る


富士山をご神体とする神社の見学


青木ヶ原の風穴の見学


江戸時代の浮世絵と今の風景を比較


ガイドが先導し案内


場所によって富士山の見え方も変わる

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：宗谷Stay＆Activity事業の実施

【概　　要】宗谷地域の滞在型観光を推進するために、北宗谷エリアのアクティビティに関する調査を実施するとともに、新たに商品化された稚内大沼のカヌーの体験、宗谷エリアの宿泊事業者とアクティビティ事業者が参加するオンライン報告会を開催。

【日　　時】利尻島や礼文町、稚内市のアクティビティ関係のヒアリング／6月～7月

カヌー体験会／令和5年10月3日（火）

オンライン報告会／令和6年4月16日（火）


ヒアリングの様子


カヌー体験会（説明）


大沼のカヌー体験


ヒアリングの様子


大沼のカヌー体験



オンライン報告会の様子

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：道の駅における駐車場利用環境向上（運営委員会）

【概　　要】道の駅「摩周温泉」では車中泊者による路上駐車など、繁忙期における駐車場の混雑が問題となっていた。そこで、令和元年度から駐車場利用環境向上の取組を実施しており、令和5年度も、予約制駐車スペースと臨時駐車場への誘導の取組を実施した。

【日　　時】令和５年6月30日（金）～9月25日（月）

【場　　所】道の駅「摩周温泉」（弟子屈町）

【主　　催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ　運営委員会



予約制駐車スペースの設営



予約制駐車スペース利用風景



道の駅「摩周温泉」の地図と取組箇所の位置



臨時駐車場への誘導看板



夜間の街灯点灯時間の延長

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：そらの森 植樹会
（景観まちづくり部会）

【概　　要】景観まちづくり部会では、そらの森（弟子屈飛行場跡地）での植樹活動を継続的に実施している。令和5年度は13回目の植樹祭であり、地域の子供達や障がい者とともに、飛行場跡地の植樹活動を通じて、カーボンオフセットのシーニックの森づくりを行った。
【日　　時】令和5年10月14日　10時～12時
【場　　所】そらの森（弟子屈町飛行場跡地：一般国道241号沿い）
【主　　催】景観まちづくり部会 、シーニックカフェプロジェクト
【参加人数】約35名



参加者の集合写真




そらの森での植樹活動の様子

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：「秀逸な道」区間の清掃活動
（景観まちづくり部会）

【概要】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイでは、ルート内の2区間が「秀逸な道」に認定されている。令和5年度も釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの幹事や参加団体だけでなく、シーニックカフェの店員さん、北海道コカ・コーラボトリングさん、かわたびほっかいどうさん、地域おこし協力隊、行政連絡会議のメンバーなどに参加いただき清掃活動を実施した。

【場所】一般国道243号「秀逸な道」区間（弟子屈町）の駐車帯
中標津町道「秀逸な道」区間（中標津町）の駐車帯

【日時】令和5年6月3日（弟子屈町）、令和5年10月24日（中標津町）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ　景観まちづくり部会

【参加人数】一般国道243号「秀逸な道」区間：21名、中標津町道「秀逸な道」区間：22名



清掃活動の実施状況（一般国道243号「秀逸な道」区間）



清掃活動の実施状況（中標津町道「秀逸な道」区間）

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：第20回　国道5号函館新道花いっぱい活動 2023

【概　　要】函館の玄関口である国道5号函館新道インターチェンジ付近。函館新道（国道5号）の開通をきっかけとして始まった植栽活動を行う取組。札幌方面から函館新道を利用して函館に入る時の玄関口となるため、観光客や地域住民の方々に気持ち良く走ってもらおうと、おもてなしの気持ちを込めて実施しています。
　今回は、2004年の第1回から20回目となるアニバーサリーイヤー。北海道日本ハムファイターズの公式マスコットB･B君も応援に駆けつけてくれました。
【日　　時】【花植え活動】令和5年6月10日（土）／【撤去活動】令和5年10月22日（日）
【場　　所】国道5号函館新道インターチェンジ付近
【主　　催】函館花いっぱい道づくりの会
【参加人数】約800名（花植え活動）/約600名（撤去活動）



▲花植え活動　募集チラシ





▲花植え活動





▲20周年記念イベント





▲撤去活動

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：令和5年度手づくり郷土賞受賞 「はこだて花かいどう ～20年目のおもてなし～」

「函館花いっぱい道づくりの会（愛称名：はこだて花かいどう）」は、函館市の玄関口である国道5号（函館新道）の沿道において、植樹帯に花を植栽する活動として、平成16年度(2004年度)から始まり、今年で20周年を迎えました。

この度〈はこだて花かいどう〉活動の継続性や先進性等が高く評価され令和5年度 手づくり郷土賞を受賞しました。さらに、全国各地から集まった各受賞団体(15団体)による受賞記念発表会が行われ、ベストプレゼン賞に輝きました。



国土交通大臣表彰　手づくり郷土賞とは

地域活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するもの

※「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、
令和５年度で38回目の開催となる国土交通大臣表彰



①「手づくり郷土賞」受賞記念発表会　2023年12月23日(土)　東京国際交流館プラザ平成









②「手づくり郷土賞」認定証伝達式　2024年2月15日(木)　函館開発建設部









函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：秋田県「のしろ白神のみち」＆「函館・大沼・噴火湾ルート」の交流プロジェクト

日本風景街道「のしろ白神のみち」とシーニックバイウェイ北海道「函館・大沼・噴火湾ルート」の交流プロジェクトとして、秋田県能代市において『ワックスキャンドル製作体験会』が2023年11月21日(火)に開催しました。「のしろ白神ネットワーク」能登祐子代表を中心メンバーとして、ときめき工房ねま～る・能代観光協会・能代市・能代河川国道事務所ほか、北海道から能代観光に訪れた一般参加者も加わり、約60名が参加しました。なお、このワックスキャンドル製作体験会で作られた〈ミルキーキャンドル〉は、2023年12月16日に開催される「第24回のしろまち灯り」で使われ、能代の夜を彩ることとなりました。

- 日　時　　2023年11月21日(火)　10:00～16:00
- 会　場　　能代市 働く婦人の家(能代市追分町4-26)
- **テーマ　　あなただけの特別なミルキーキャンドルを作りませんか。**



「秋田×函館」連携によるワックスキャンドル製作体験会スタッフ



能登代表が名付けた〈ミルキーキャンドル〉



キャンドル製作体験会の様子

北海道からの観光客も
飛び入り参加！

参加者数
約60名



シーニックバイウェイ北海道からは、
函館・大沼・噴火湾ルート
事務局長　折谷 久美子さんが
ろうそく作り講師として招聘されました。
さらに、製作スタッフとして北海道から
函館開発建設部ほか4名が参加しました。

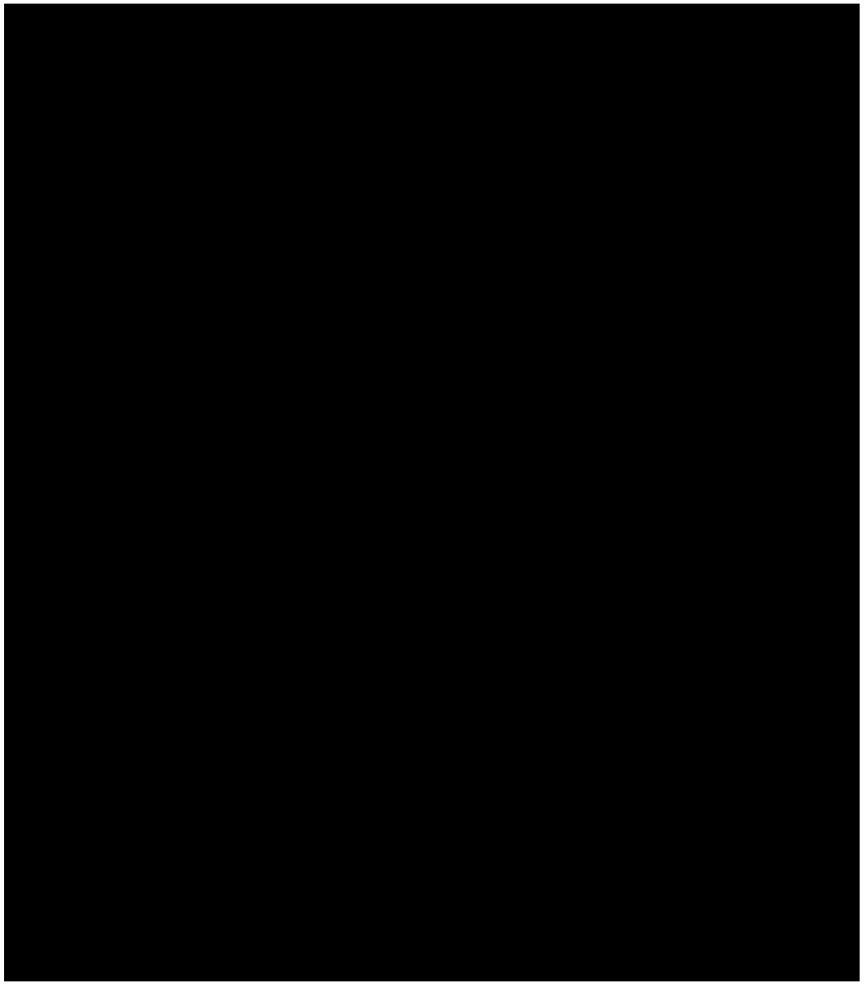


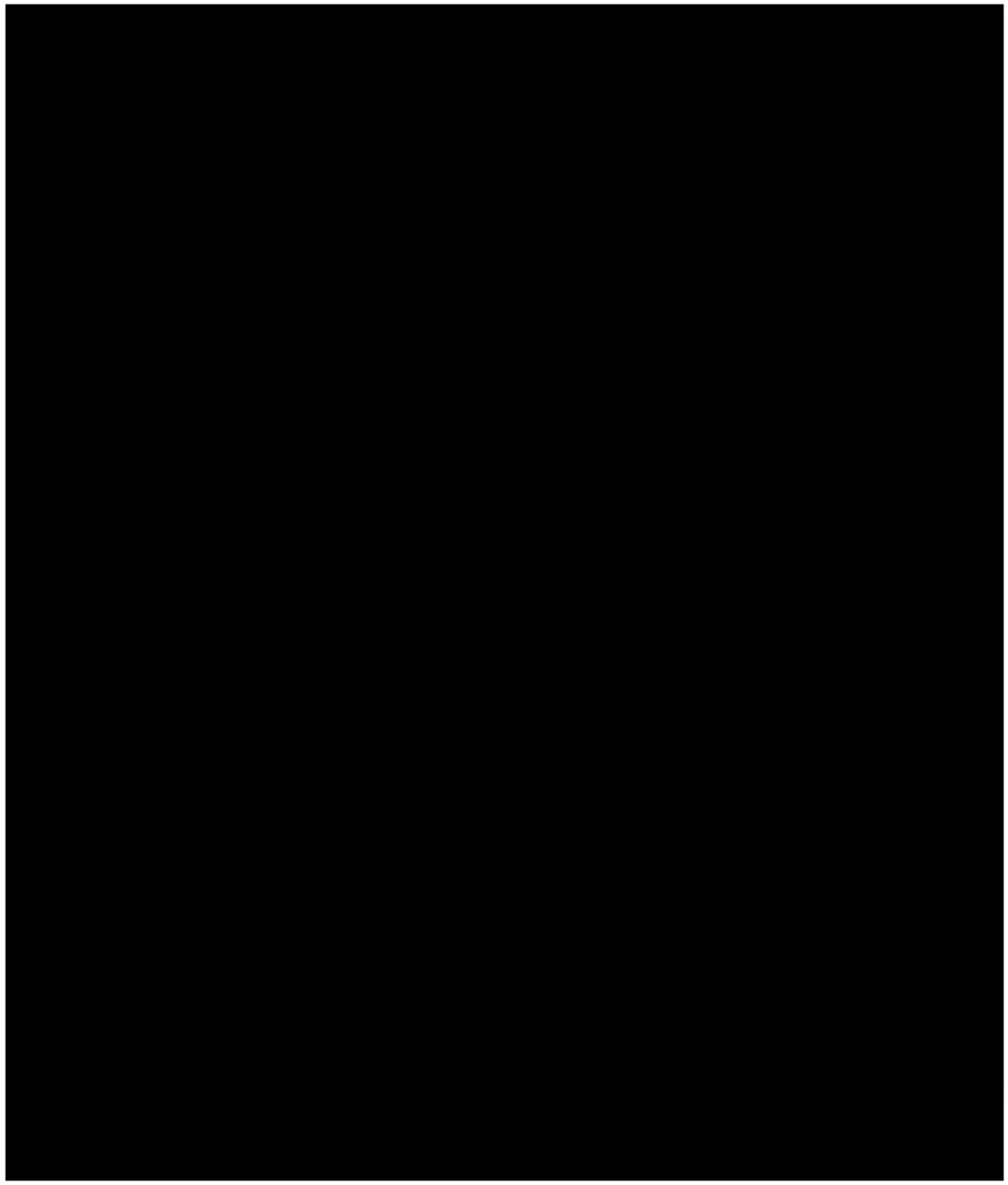
2023年 ワックスキャンドル製作体験会　チラシ

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：秋田県「のしろ白神のみち」＆「函館・大沼・噴火湾ルート」の交流プロジェクト





函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックdeナイト2024

【概　　要】シーニックdeナイトは、国道・道道沿線、観光施設や公園などに、手作りワックスキャンドルを設置するイベントです。2006年から、シーニックバイウェイ北海道「函館・大沼・噴火湾ルート」の冬期観光振興のための連携した取組として始まり、今年で19年目を迎えます。コンセプトは　～やさしいあかり あったかいね きれいだね～　手づくりワックスキャンドルのほのかな灯りは、見る人の心に安らぎを与え、いつまでも見ていたい、やさしい気持ちになります。シーニックdeナイト2024は、函館近郊8箇所で開催しました。
【日　　時】2024年２月3日(土),10日(日),17日(土),24日(土)
【場　　所】五稜郭公園、シエスタ前～行啓通り、函館新道、函館市地域交流まちづくりセンター、函館市縄文文化交流センター、亀田八幡宮境内（以上、函館市）、函館七飯スノーパーク（七飯町）
【主　　催】シーニックdeナイト実行委員会／函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議



▲　シーニックdeナイト2024　フライヤー



▲　五稜郭公園


▲　函館新道


▲　シエスタ前～行啓通り



▲　函館新道


▲　函館市地域交流まちづくりセンター

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：道路景観プロジェクト（海岸清掃）

【概　　要】ルート内の秀逸な道として、平成30年度から清掃活動に取り組んでいる。令和3年度からの秀逸な道の本格運用に伴い、当該区間が選定候補区間に登録されたことから、清掃活動（苫前町クリーンアップ日本海事業とコラボ）を行った。
【開 催 日】令和5年6月8日　9:00～11:30
【開催場所】一般国道232号 上平











当日は北海道コカ・コーラボトリング㈱（SBW包括連携企業）が参加してくださった。

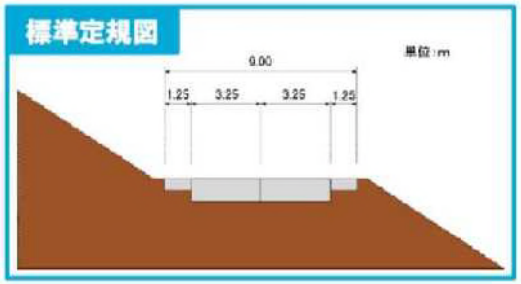
萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：道路景観プロジェクト（オロロンライン・エゾカンゾウプロジェクト）

【概　　要】2020年度に事業化された「一般国道232号 小平防災事業」によって、小平町大椴の法面にて自生するエゾカンゾウが今年度夏期に消失する。そのため、エゾカンゾウの種を採取し今後別所に定植させることで、オロロンラインの道路景観を保全・復元を目指す。
【開 催 日】6月8日　ポット分け作業／7月13日　ネット被覆作業・植栽土壌改良作業／9月21日　種播・植栽作業





小平防災事業の区間と事業イメージ



エゾカンゾウ



工事前のエゾカンゾウ

6月8日ポット分け作業（R4株）





7月13日ネット被覆作業（R5株）・土壌改良作業（R4株）





9月21日種播（R5株）・植栽（R4株）







萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：道路協力団体活動

道路協力団体

【概　　要】北海道コカ・コーラボトリング㈱の協力を得て、大別苅防災ステーション内自動販売機設置（R5.4月3日）（2号業務）。収益を活用して、道路の利便性向上、道路の維持管理活動や環境保全活動（1号業務）の充実化、地域情報の発信（5号業務）を目指す。



大別苅防災ステーション内
自動販売機設置箇所





自販機誘導看板（R5年8/2設置）





自販機周辺での各種情報発信

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名： 道北ルート連携フォトコンテストの開催

【概　　要】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、天塩川シーニックバイウェイの道北4ルートによる、ルートを跨いだフォトコンテストを実施した。今年度で１０年目の開催で、過年度の受賞作品については、管内巡回パネル展示を実施している。
【応募期間】令和5年6月1日～9月30日
【主　　催】シーニックバイウェイ北海道 道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会

萌え天における応募人数	R1	R2	R3	R4	R5
全応募者数	69	57	44	39	26
有効応募者数	69	57	44	39	26
うち 学生部門	21	8	2	3	3

応募者人数の推移

年度		萌え天
2019 (R1)	全応募	55
	有効	55
2020 (R2)	全応募	72
	有効	72
2021 (R3)	全応募	61
	有効	61
2022 (R4)	全応募	57
	有効	57
2023 (R5)	全応募	35
	有効	35

応募作品数の推移



●グランプリ
『天と地の隙間から』（幌延町）



●ルート賞
『ジャンプ！！』（幌延町）





●入賞
『しばれた朝のプレゼント』（苫前町）
『海遊び』（初山別村）

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：シーニックカフェの登録・カフェ連携の推進

【概　　要】ルート内の景観のすばらしい場所や飲食店を、シーニックバイウェイ推進協議会で統一的に広報活動を実施している「シーニックカフェ」として登録し、ルート内の景観のよい場所や施設を統一的にPRすることで、ブランド化に繋げることを目的として実施している。現在、ルート内に9カ所のカフェが登録されている。

【登 録 数】シーニックカフェ9ヵ所（令和5年現在）

<登録先カフェ>
・喫茶ポルク（増毛町）
・ハートランドカフェ（留萌市）
・ふなばカフェ（るしんふれ愛パーク内：留萌市）
・からくれ（小平町）
・ラウンジWildmill（道の駅風Wとままえ内：苫前町）
・TIARA（羽幌町）
・レストラン北極星（初山別村）
・道の駅えんべつ富士見（遠別町）
・てしお温泉夕映レストラン（天塩町）



令和3年10月1日より
全道的なPRサイトが開設





令和4年度より
自転車御守頒布開始

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト（全体像）

【概　　要】令和元年度からの継続事業として、今年度は「オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト（浸透期）」と位置づけ、過去2カ年のサイクリスト受入環境整備の成果を拡大成長させることと同時に、管内サイクリストや地元高等学校などの他団体との連携を強化。引き続き本取組の成果を管内に浸透させつつ、今後の管内のサイクルツーリズムの振興の足掛かりを築くことを目的とする。

取組メニュー	今後の課題	令和5年度取組結果
「手ぶらサイクル」の検討（地元バス事業者との協議）	➢ オロロンライン・サイクルルート連絡会議にて継続検討 ※留萌観光連盟に沿岸バスは所属していることから、円滑な交渉が期待される。	未実施
サイクリスト・応援カーの試行実施	➢ 関係者のモチベーション持続のために出発式の定例化 ➢ 巡回員のスキルアップなど応援カーのサポート能力の強化	➢ 連絡会議と連携した出発式の開催 ➢ 巡回員講習会でのメンテナンス講習会の開催→DVD配布に変更 ➢ 反射ベルトの配布
オロロンライン・サイクルステーションの設置・拡大	➢ 応援カー出発式の開催に併せ、オロロンライン・サイクルステーションの保守をルーティン化	➢ 応援カー出発式の開催に併せたオロロンライン・サイクルステーションの保守点検
バイクホテルの設置・拡大	➢ 新型コロナウイルスの5類化を受け、宿泊需要の回復を確認した上で、再度打診していく。	未実施
苫商自転車ツーリングの実施	➢ 学校だけの取組で完結させることなく地域社会を上手に巻き込む取組の検討 ➢ 生徒数の増加に寄与できるような効力のある取組の検討	➢ 苫商自転車ツーリングの継続的支援
オロロンライン聖地化プロジェクト	➢ 令和5年8月にミーティングイベント（オロロンライン・サンセット・ミーティング（OSM））を開催し、「サイクリストの聖地」としてのブランディングの向上と自転車風土づくりを進める。	➢ オロロンライン・サンセット・ミーティング（OSM）の開催 ➢ 自転車風土の醸成に向けた取組の実施→映画上映会の開催

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト
（サイクリスト・応援カー出発式）

【概　　要】管内の国道等の道路パトロールカーに空気入れや自転車用工具セットを搭載する取組みを令和2年度から試行的に実施しており、取組の気運を高めるため出発式を行う。
【開 催 日】令和5年5月12日（金）
【開催場所】留萌開発建設部 羽幌道路事務所
【主　　催】萌える天北オロロンルート
【参　　加】維持ネットワーク協議会留萌支部（国道維持業者７社）・かわたびほっかいどう留萌川・天塩川河川巡視2社











R5年度自転車御守



オロロンライン・サイクルルート試走会に接続
＝「自転車開き」

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト
（反射バンドの配布）

【目　　的】雄冬～増毛の長大トンネルにおける対自転車利用者の安全対策／やむを得ず夜間走行をする自転車利用者の安全対策／内の観光資源及びサイクリスト応援カーのPR
【配布場所】雄冬駐車場トイレ（白銀の滝）
大別苅防災ステーション
【配布時期】令和5年8月21日頃～10月31日　※期間中在庫が無くなり次第終了（9月中旬完売）
【配布方法】夏期保管中の砂箱から希望者が自由に手に取る（無料）











萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト
（苫前商業高校ツーリング事業への協力）

【概　　要】苫前商業高校と苫前町教育委員会による自転車ツーリング事業とタイアップすることで、苫前商業高校の生徒数増加に向けたPRとともに、管内他高への展開に向けた事例づくりを行う。具体的には、自転車ツーリング事業の企画段階から安全な自転車の乗り方の助言をするとともに、管内の隠れた魅力を高校生たちに伝えながら、2泊3日の自転車ツーリング事業を企画。
【開 催 日】令和5年7月25日（火）～27（木）
【主　　催】苫前商業高校・苫前町教育委員会　【協　　力】萌える天北オロロンルート
【参 加 者】苫前商業高校（高校生13名、教員等4名）・苫前町教育委員会（職員2名）・萌える天北オロロンルート（3名）






R5年度の様子（左：地元建設会社によるエイドの設置、中：空知SBWによる地元エイドの設置、右：ゴールにて苫前町長からの挨拶）

●R5年度の行程
7/25 苫商～留萌～沼田（約75km）
7/26 沼田～増毛（約55km）
7/27 増毛～小平～沼田（約60km）



youtubeにて走行動画は公表
（撮影・製作：澤田 知明氏）

資金確保に向けた取組



萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト
（オロロンライン・サンセット・ミーティング（OSM）の開催）

【概　　要】天塩町鏡沼公園で、現地合流型のサイクルイベントを開催した。4年間磨き上げてきたサイクリング・インフラと仲間づくりを基盤に、オロロンラインを「サイクリストの聖地」に引き上げるべく象徴的なサイクルイベントを提案。「日没の1時間前に集まる」といった前例のない現地参加型のサイクルイベントを企画。
【開 催 日】令和5年8月19日（土）
【協　　力】天塩町・天塩町観光協会・（一社）留萌青年会議所
【参 加 者】19名







現地での地域住民たちとの交流と同様、道中でのそれぞれの経験もこの企画の満足度を高めることがわかった。
「圧倒的な景観」・「マイペースな旅」・「地域のおもてなし」がオロロンラインのサイクルツーリズムの売り出し方に？

	参加した感想
40代　男性	何度も足が攣って**大変でしたが、気持ちよくゴール**できました！
40代　男性	**何も考えず、景色を見ながら自転車を漕ぐ。それだけで楽しかった**です。
30代　女性	• 事前に送られてきたマップの目安時間を自転車のものだと勘違いしてた件。（中略）**街灯のない日本海沿いを半泣きで激走。途中トラックにクラクション鳴らされて怒られながら…。**なんとか19時半に苫前のキャンプ場着。無事に着いて良かった…。 • 荷物を結んでた紐が解けてギアにぐるぐる巻きになってた…。ぱっと見どうにもならなそうで**オワッター状態のところに自転車2人組が追い抜きざまにトラブルですか？**と。すぐあとに事務局の車が止まり大人４人を巻き込んで私の自転車の救助がスタート…。（中略）あれを1人で奮闘して、結局ダメで解体して運んで帰っていくのを想像したらゾッとします…。**本当に感謝感謝です…。**
30代　男性	**二日酔いでの帰り道&BBQ**
40代　男性	**きつい坂、天塩町の綺麗な夕日**

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト
（自転車映画上映会の開催）

【概　　要】サイクリストを歓迎する地域の文化や風土づくりを目的に、自転車日本縦断ロードムービー『Start Line』の上映会を開催した。
【開 催 日】令和5年11月24日（金）留萌開催・ 11月25日（土）稚内開催
【協　　力】留萌商工会議所・留萌観光協会・留萌開発建設部・留萌振興局・留萌市・北海道維持除雪管理ネットワーク協議会留萌地区
【参 加 者】留萌開催　60名・稚内開催　40名











萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：インフラツーリズム・プロジェクト

【概　　要】苫前町古丹別地区流雪溝利用の活性化方策を検討するにあたり、増毛町とも連携し流雪溝利用活性に向けた試行的取組を実施した。
【開 催 日】令和6年1月27日（土）留萌開催・ 1月28日（日）増毛開催
【主　　催】苫前町まちづくり企画・増毛町流雪溝管理運営協議会
【共　　催】苫前町流雪溝管理運営協議会
【協　　力】萌える天北オロロンルート
【参 加 者】留萌開催　４０名・増毛開催　３０名











萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：「南いよ風景かいどう」の視察

【概　　要】「令和4年度　沿道の環境を守り、活用する団体への支援事業」優秀賞に伴い、日本風景街道「南いよ風景街道」や地域運営組織（RMO）を視察した。

【開 催 日】令和6年3月20日（水）～22日（金）
【視 察 先】NPO法人段畑を守ろう会・西予市まちづくり推進課地域づくり活動センター推進室・地域共同組合無茶々園・野村町まちづくりセンター・目黒の里ホタル愛好会
【参 加 者】西大志代表・小寺事務局次長





段畑景観維持
（宇和島市遊子：
NPO法人段畑を守ろう会）



蛍の畦道プロジェクト
（松野町：目黒の里ホタル愛好会）



西予市まちづくり推進課地域づくり活動センター推進室



西予市狩浜：地域共同組合無茶々園

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway　TOKACHI HEIYA・SANROKU　route

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

【概　　要】訪れた人に楽しんでいただきながらルート内のシーニックカフェを巡っていただき、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに、各シーニックカフェの利用促進を図ることを目的にルート独自で実施している。
【実施内容】参加施設にスタンプラリー台紙及びスタンプを設置。参加者はラリー参加施設の２カ所以上のスタンプ押印で応募が可能。押印数により景品が抽選で当たる。
【開催期間】令和５年７月２９日（土）～１０月１５日（土）
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　十勝平野・山麓ルート
【参加施設】十勝平野・山麓ルート内シーニックカフェ12カ所
【応募人数】９４名（十勝管内：５８名、十勝管外：２４名、北海道外１２名）

サイズ：見開きA4（観音折り）

（表）



（裏）



十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Ⅱ Scenic Byway　TOKACHI Ⅲ HEIYA・SANROKU　route

活動名：環境美化活動「花壇植栽」

【概　　要】訪れた人にルート内の美しい景観を楽しんでいただくため、おもてなしの気持ちと再訪を促す目的で実施している。
【実施内容】道の駅「あしょろ銀河ホール２１」（足寄町）、豊岡見晴し台駐車公園（上士幌町）、「ひまわりの道」（陸別町）の花植え
【開催期間】令和５年６月～10月
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　十勝平野・山麓ルート
【参加人数】約60名



豊岡見晴し台駐車公園（上士幌町）



道の駅「あしょろ銀河ホール21」周辺（足寄町）



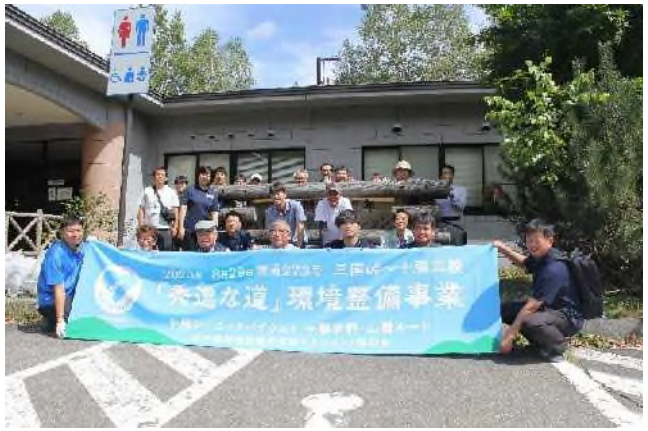
「ひまわりの道」（陸別町）

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACI II Scenic Byway　TOKACI III EIYA・SANROKU　route

活動名：「秀逸な道」環境整備事業

【概　　要】「秀逸な道」と情報発信拠点の除草・清掃を行うことで、景観の魅力向上と観光客への快適さを提供し、地域の資源として活用できる環境を整えている。
【実施内容】幌加除雪ステーション・水芭蕉駐車場の除草・清掃
【実 施 日】　令和５年８月２９日（火）
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　十勝平野・山麓ルート
【参加人数】２６名



幌加除雪ステーション①



幌加除雪ステーション②



水芭蕉園駐車場

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway　TOKACHI HEIYA・SANROKU　route

活動名：幌加除雪ステーション情報発信

【概　　要】旧士幌線鉄道遺構が点在する観光地にある除雪ステーションを情報発信拠点として整備し、シーニックバイウェイ、ルート、自治体などのポスター、マップ、パンフレットなど設置。観光客へシーニックバイウェイのＰＲと情報発信を行い、周遊とドライブ観光を促進している。
【実施内容】幌加除雪ステーションでの情報発信
【実施期間】令和５年５月～令和５年11月（冬季間は閉鎖）
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　十勝平野・山麓ルート
【設置物】　自治体・「秀逸な道」ポスター、ルートマップ、自治体パンフレットなど



入口へ展示案内を掲示



自治体ポスターとパンフレット



秀逸な道ポスターと山麓ルートマップなど

十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway　Tokapuchi　Yudaikukan

活動名：ふたりぼっちパスポート事業

【概　　要】形を変えながら今年度で１３年目となる、十勝の施設をお得にめぐるチケット事業。２名以上で利用すると１名無料となるパスポートで、１冊1,400円で販売、最大約２万円お得となる。観光施設など、道内約50か所で販売を行い、相互の施設においてPR活動を実施するほか、専用ホームページにて積極的にPRを行った。十勝の魅力ある店舗を募り、お得に十勝を巡ることで魅力を発見して貰うと共に、参加店舗の宣伝効果により、地域活性化を図る事業となっている。
【販売・実施期間】令和5年6月１2日（月）～令和5年11月30日（木）
【対応施設エリア】十勝シーニックバイウェイエリア
【事業対応施設】上記エリア内のガーデン、グルメ、温泉、アクティビティ、グッズの５２施設（北の屋台２０店舗含む）
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間
【販売・利用数】１，２６９冊販売、延べ３，５２３名利用



ふたりぼっちパスポート
（チラシ表面）



ふたりぼっちパスポート（表面）



ふたりぼっちパスポート（中面）

十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway　Tokapuchi　Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ事業

【概　　要】十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」（ご当地風土アドバイザー）の育成事業。主なガイド活動として、十勝川温泉にある「シーニックカフェ十勝が丘展望台」、「とかちマルシェ」「日高山脈襟裳国立公園「日高・十勝“地域の環境取り組みと農業発展・馬文化を学ぶ”」ここだけの旅」「全道勤労者文学歴史探訪」等へのガイド派遣を実施した。また、ライフコンシェルジュの会を6回開催し、活動について意見交換を行った。今後も活動の場を増やすとともに、観光客などにより充実した十勝の情報を提供するため、講習会等の人材育成に力を入れていくこととしている。

【活動期間】令和5年４月～令和5年１２月

【場　　所】十勝管内にて活動を実施

【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

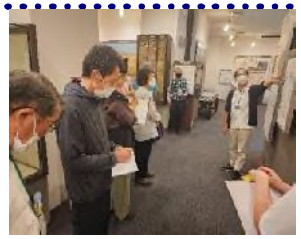
【活動状況】ライフコンシェルジュ：33名　ガイド活動実施先は以下のとおり

①シーニックカフェ十勝が丘展望台（7/1～9/30の土日祝の雨天・高温を除く18日間）

②日高山脈襟裳国立公園「日高・十勝“地域の環境取り組みと農業発展・馬文化を学ぶ”」ここだけの旅（7/25）　③とかちマルシェ（9/2、3）④ライフコンシェルジュの会（4/26、6/21、8/16、10/18、12/9、2/21）

⑤全道勤労者文学歴史探訪（10/13）

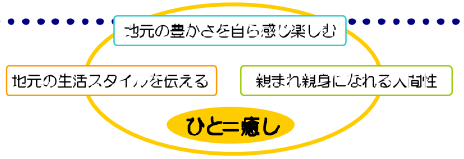
⑥全道ルート交流会議エクスカーション（１０/２７）



ライフコンシェルジュの会の様子



とかちマルシェ



ライフコンシェルジュとは

十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway　Tokapuchi　Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

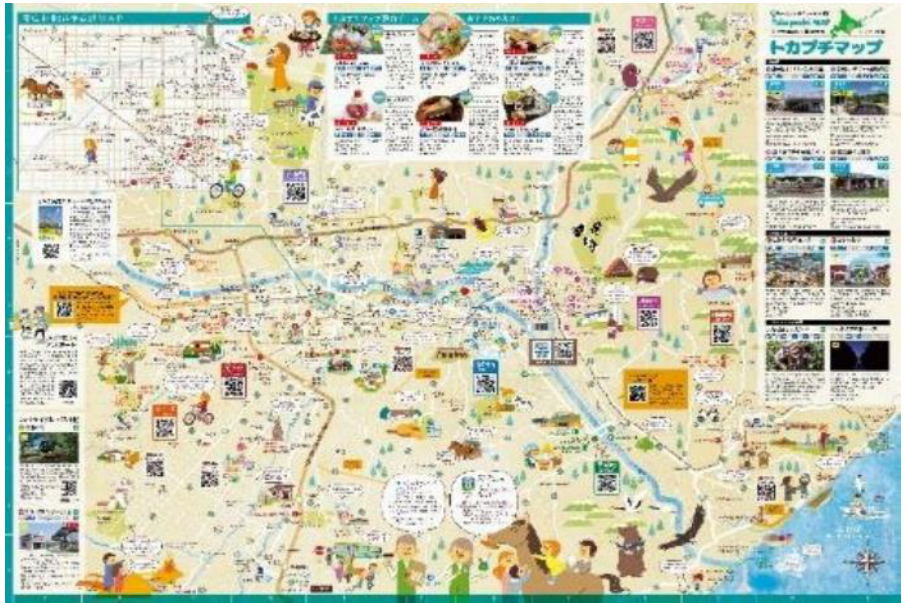
【概　　要】昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光ＰＲを含めたマップを作成した。今年度は「麺料理」をテーマにルート内のおすすめ麺スポットを紹介。引き続き観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップ需要は高いことから、今後も観光プロモーションと併せて継続する。

【発　　行】令和5年４月

【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

【マップ仕様】印刷部数：17,000部　サイズ：A2

配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、道の駅、札幌市内など





＜トカプチ雄大空間ルートMAP（トカプチマップ）＞

十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway　Tokapuchi　Yudaikukan

活動名：トカプチ情報ボックス事業

【概　　要】
トカプチ雄大空間エリア内の各情報拠点に設置している「トカプチ情報ボックス」に、ルート内施設の観光パンフレットなどを設置している。
主に観光施設に設置しており、パンフレットの需要も高いことから、今後も実施をしていく。

【実施時期】令和5年４月～令和５年３月
（配送：令和5年5月～１０月）

【設置箇所】１６カ所（加入先20団体）

【配達回数】６回



＜トカプチ情報ボックス／JR帯広駅 とかち観光情報センター・十勝まきばの家＞

十勝シーニックバイウェイ　南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway　MINAMITOKACHI　YUMEKAIDO

活動名：フォトコンテスト　＆　フォトコンテストカレンダー作成　＆　フォトコンテスト巡回作品展

【概　　要】

フォトコンテストの開催及びコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成及び販売は、候補ルート時から継続して実施している活動である。フォトコンテストは、地域の魅力を発信しエリアに訪問して頂く機会を作るため、平成１８年より実施している活動で今年度で１８年目である。管内だけではなく管外・道外、幅広い年代より多数の応募があり、フォトコンテストの取組が着実に根付いている。また、入賞作品の巡回作品展（６箇所：各２週間程度）を開催した。今活動は、本ルートの景観の素晴らしさを多くの方に知ってもらえることから、継続的に取り組む予定である。

【日　　時】 作品募集：令和５年７月１日（土）～９月２９日（土）
　　カレンダー販売：令和５年11月～令和６年1月

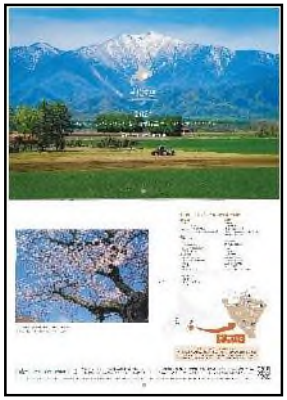
【場　　所】撮影：南十勝夢街道エリア　　販売：南十勝夢街道内商工会及び道の駅、帯広市内など

【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　南十勝夢街道

【参加人数】フォトコン応募者数：６２名　応募作品数：１９５点　カレンダー：１，０００部作成



2023フォトコンテスト
募集チラシ



2024年カレンダー
制作・販売



フォトコンテスト審査会 10/10



巡回パネル展
（ナウマン温泉ホテルアルコ）

十勝シーニックバイウェイ　南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway　MINAMITOKACHI　YUMEKAIDO

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

【概　　要】
　ルート内のシーニックカフェを楽しみながらめぐっていただくと共に、訪れた方へ南十勝夢街道の景観の素晴らしさや、ルート内の魅力を知っていただくため、平成26年度からルート独自で実施している。
【実施内容】
　ルート内のシーニックカフェ４施設にラリー台紙およびスタンプを設置し、参加者は４施設全てでスタンプを押印し、カフェ店員に提出することで応募となる。応募者全員に南十勝夢街道フォトコンテストカレンダーを送付。
【開催期間】令和５年7月１５日（土）～9月30日（土）
【参加施設】シーニックカフェ　４施設（道の駅さらべつピポパ、シーニックカフェちゅうるい、晩成温泉、ひろおサンタランド・サンタの家）
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　南十勝夢街道
【応募人数】１３名　（十勝管内：３名、十勝管外：８名、北海道外：２名）



スタンプラリー用紙（表面）


スタンプラリー用紙（裏面）
スタンプ台紙

シーニックカフェ	自治体
道の駅さらべつ 観光と物産の館「ピポパ」	更別村
ちゅうるい （忠類共栄牧場内）	幕別町忠類
原生花園 （大樹町晩成温泉内）	大樹町
広尾 （ひろおサンタランド内）	広尾町

十勝シーニックバイウェイ　南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway　MINAMITOKACHI　YUMEKAIDO

活動名：マップ作成・配布

【概　　要】南十勝夢街道エリアの特徴である「風景・景観」をテーマに、5町村連携の「南十勝よりみち・よりまちマップ」を作成し、配布した。南十勝を広域で紹介することで、ドライブ観光客の周遊を促すことを目的に、各町村の特産品や、南十勝のテーマである「日高山脈の風景」、おすすめの景観スポットなどを紹介した。今後も観光プロモーションと合わせてPRを継続していくこととしている。

【発　　行】令和５年９月

【主　　催】南十勝地域協働型道路マネジメント検討会、南十勝夢街道

【マップ仕様】サイズ　：A2

配布箇所：エリア内5町村の商工会、道の駅や観光施設等の情報拠点など

（一部管外でも配布）



マップ配布の様子

左：道の駅忠類／右：幌加除雪ステーション（上士幌町）





＜南十勝よりみち・よりまちマップ＞

札幌シーニックバイウェイ　藻岩山麓・定山渓ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：南区 冬の雪あかり2024

【概　　要】12月下旬から３月上旬において、札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルートにおいて「冬の雪あかり2024」を開催した。「冬の雪あかり2024」は、札幌市南区の各地区において、地域の方々の取り組みにより、スノーキャンドルやアイスキャンドル、イルミネーションなどを点灯するほか、雪だるまや雪像の設置などを行い、幻想的なキャンドルの景色を楽しむ冬のイベントである。訪れる人それぞれに楽しんでもらうよう、各地域で開催を行った。札幌市立大学の協力を得て、チラシのデザインを行った。

【開催日時】令和5年12月上旬～令和6年3月上旬

【開催地区】澄川地区、真駒内地区、石山地区、藻岩地区、南沢地区、芸術の森地区、藤野地区、定山渓地区、簾舞地区、藻岩下地区

【協　　力】札幌市南区、札幌市立大学、札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート





冬の雪あかり2024のチラシ

各地区での雪あかりの様子



真駒内地区



芸術の森地区



澄川地区



石山地区



藻岩地区



藻岩下地区



定山渓地区



藤野地区



南沢地区



簾舞地区

札幌シーニックバイウェイ　藻岩山麓・定山渓ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：2024年度みなみくカレンダー

【概　　要】南区が発行する「2024年度みなみくカレンダー」の中で、札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルートの活動や「秀逸な道」の紹介ページを作成・配布した。カレンダーには、札幌市民が撮影した「南区らしさ」が伝わる写真を募集し、採用している。南区の魅力あふれる美しい景色が満載のカレンダーとなっている。カレンダーはA4版、カラー刷り16ページで、2,000部発行。

【発　　行】　令和６年3月下旬発行

【配布場所】　南区役所1階情報提供コーナー、ルートの関係機関 等

【編集・発行】札幌市南区地域振興課

【制作協力】　札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート

【発行部数】　2,000部



カレンダーの表紙



カレンダーの内容



カレンダーでルートの活動や秀逸な道を紹介

札幌シーニックバイウェイ　藻岩山麓・定山渓ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会の花植え活動

【概　　要】令和5年度で第23回目となった芸術の森フラワーロードの花いっぱい運動は、札幌市豊平区から支笏湖に向かう国道４５３号沿いの「札幌芸術の森」の手前の全長3km区間の沿道において植栽活動を行っている。町内会の住民や、フラワーロードの会員、行政関係者など、総勢68名が集まり、花植えを行った。その後、花壇の草取りを行うため、7/8 と 8/19 に草祭りを開催し、延べ 49 名が参加。10/29には、27名で最終花壇清掃を行った。

【日　　時】①花植え：令和5年5月28日（日）②第1弾草祭り：7月8日（土）
③第2弾草祭り：8月19日（土）、④最終花壇清掃：10月29日（日）

【場　　所】国道４５３号沿いの「札幌芸術の森」の手前 約３ｋｍ区間

【主　　催】芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会/芸術の森地区連合会

【参加人数】①：68名、②＋③：49名、④：27名



▲ 開会の様子（5/28）



▲ 花植え活動の様子（5/28）



▲ 活動終了後の様子（5/28）



▲ 草取りをする様子（7/8）

札幌シーニックバイウェイ　藻岩山麓・定山渓ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：真駒内地区連合会と真駒内曙中学校の花植え活動

【概　　要】真駒内地区連合会（横堀道子会長）が主催し、真駒内曙中学校の生徒らと一緒に、国道４５３号沿いの真駒内曙中学校脇の約400m区間の植樹桝に花植えを行った。同連合会と中学生に加え、札幌市赤十字奉仕団真駒内分団などから約50人が参加。参加者は、きれいな花を咲かせるように願いを込めながらピンク色のベゴニアの花植えを行った。

【日　　時】令和5年5月15日（月）10:30～12:00

【場　　所】国道４５３号沿いの「真駒内曙中学校」脇の約400m区間

【主　　催】真駒内地区連合会

【協　　力】真駒内曙中学校/札幌市赤十字奉仕団真駒内分団

【参加人数】参加者数50名



横堀会長の挨拶(上)・校舎の前で集合(下)



ベゴニアを運ぶ生徒達



花植えの様子



花植えの様子

札幌シーニックバイウェイ　藻岩山麓・定山渓ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：板割沢拡幅記念植樹区間の景観保全活動

【概　　要】平成28年度から実施している景観保全活動。平成15年に板割沢拡幅事業の記念植樹が行われた区間で樹木の生長により景観を阻害する状態になっていたのを、平成28年から記念植樹区間の道路空間改善について検討を開始し、地域住民と道路管理者が協働で草刈りや樹木の間伐・枝払い、ゴミ拾いを実施する景観保全活動をしている。6月の活動には、みなみの杜高等支援学校の生徒や地元のNPO法人にも参加頂き一緒に草刈り作業を実施。10月の活動には、地域と行政協働で草刈りと樹木の間伐・枝払いの作業を実施。地域の児童会館の児童らは、道や環境について学び、その後、樹木説明用木製プレートの作成・設置、ゴミ拾いなどを実施した。

【日　　時】１回目：令和5年6月28日（水）、2回目：同年10月14日（土）

【場　　所】国道230号 板割拡幅記念植樹環境整備区間（L=0.3km）

【主　　催】国道230号協働型道路マネジメント検討会

【協　　力】簾舞地区まちづくり連合会/簾舞児童会館/みなみの杜高等支援学校/ NPO法人森と暮らす札幌/札幌開発建設部

【参加人数】１回目（6月）：21名、2回目（10月）：34名



▲ 参加者全員の集合写真（10月）





▲ 春の活動の様子（６月）





▲ 秋の活動の様子（10月）









▲ 保全エリア（KP18.3~18.5）の事前事後比較



▲ 活動参加募集チラシ



▲ 道について学ぶ児童



▲樹木説明用木製プレートを製作

札幌シーニックバイウェイ　藻岩山麓・定山渓ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：札幌シーニックバイウェイ魅力発掘及び情報発信プロジェクト

【概　　要】札幌シーニックバイウェイの地域の魅力について情報発信を行うことを目的として、札幌シーニックのエリアにおける地域資源調査を行い、収集した情報を基に札幌シーニックの様々な魅力を発信するためのマップについてWSを開催して内容を検討し、マップを作成した。マップのデザインについては、札幌市立大学のデザイン部の学生にご協力を頂き、制作を行った。
【日　　時】①調査：10/11、②調査：11/10、③調査：11/22、④マップ作りWS：12/6
【場　　所】①調査：国際スキー場、②調査：国道230号 秀逸な道 他、③調査：さけ科学館、④石山ひろば
【実施主体】石山大学・札幌市立大学（札幌シーニックバイウエイ藻岩山麓・定山渓ルート）
【参加人数】①調査：17人、②調査：20名、③調査：20名、④マップ作りWS：20名



▲地域資源調査の様子（10/11）



▲地域資源調査の様子（11/10）



▲マップ作りWSの様子（12/6）



▲完成した札幌シーニックマップ

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト①
どうなん追分シーニック清掃活動

【概　　要】GW道南地域に桜が咲く季節にあわせ、一年で一番エリアの観光客が多い時節、GW前約2週間をシーニック清掃週間（4/15～29）として行っている。今年度は　江差町檜川では第１０回目開催。木古内町の第7回目開催となったが松前は小規模での実施となった。また、松前の白神から札前までの「秀逸な道候補区間」では月１回の活動を今年もけいぞくして行った。

【日　　時】　松前町　令和5年4月１５日（土）・　木古内町　令和5年4月16日（日）
江差町　令和５年4月２３日（日）
松前町　　5月20日・6月11日・7月16日・8月18日・9月10日・10月9日・11月19日実施

【場　　所】　松前町白神展望広場駐車場周辺（R228沿い）・木古内町サラキ岬（R228沿い）
江差町檜川駐車場周辺（R228沿い）
松前町秀逸な道候補区間（白神～札前）（R228沿い）

【実施団体】どうなん追分シーニックサポートＣＬＵＢ・江差観光コンベンション協会ほか・木古内町観光協会ほか
どうなん追分シーニックサポートＣＬＵＢほか

【参加人数】　≪松前（2023年20名・2022年30名・2021年50名）・江差（2023年35名・2022年35名・2021年20名）
木古内（2023年80名・2022年50名）≫　**松前町秀逸な道候補区間＝実施最大6名参加**



松前町　白神展望広場駐車場



江差町　檜川駐車場



木古内町　サラキ岬



松前町　秀逸な道候補区間

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト②
木古内町サラキ岬ほかR228沿い植栽活動

【概　　要】国道228号沿い木古内町サラキ岬では咸臨丸の史実の基づく観光空間づくりを行っており、チューリップの植栽を行っている。５月に満開を迎えるために7月には球根の掘起し、10月には球根植えを行っている。福島町青函トンネル記念館前植栽はシーニック活動として５回目。今年度は通常通り実施できた。

【日　　時】チューリップフェア 令和5年5月３日～7日
球根掘起し作業　令和５年7月22日（土）・球根植え作業　令和4年10月21日（土）
福島町植栽活動　令和５年6月21日（水）

【場　　所】木古内町サラキ岬 ・　福島町青函トンネル記念館前

【主　　催】咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・木古内町観光協会　／　福島町観光協会

【2023年参加人数】チューリップフェア　不明（カウントなし）
球根掘起し 120名 ・　球根植え100名 ・　福島町植栽 22名

≪球根堀起し（2022年100名・2021年100名・2020年100名）・球根植え（2022年120名・2021年120名・2020年120名）
福島町植栽（2022年25名・2021年35名・2020年25名）≫



チューリップフェア５月



球根掘起し作業　７月



球根植え作業　１０月



福島町植栽　６月

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなん追分シーニックdeナイトプロジェクト
どうなん追分シーニックdeナイト

【概　　要】「あかりが繋ぐ道」をテーマに年間通して、主に当ルートではイベントと併催することで沿道景観づくりの演出をしている。今年度からは地域の特徴でもある「たば風」冬期間の強風対策としてLEDの灯りに転換していることから「あかりが繋ぐ道」として、道の駅連携の中で、無理のない範囲で参加を募り実施した。



■どうなん追分シーニックdeナイト道の駅連携実施

【日時】令和5年１１月頃～冬期間

【場所】道の駅みそぎの郷きこない（12～1月）・道の駅しりうち（11～3月）
えさし海の駅開陽丸（12～2月）

◇木古内町みそぎキャンドル【日時】令和６年１月14日（土）寒中みそぎあかりPJとして開催【場所】佐女川神社・木古内駅前周辺　【主催】寒中みそぎ祭り実行委員会他



道の駅しりうちイルミネーション
（知内町）



えさし海の駅イルミネーション
（江差町）



木古内町みそぎキャンドル
道の駅みそぎの郷きこない周辺

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなんフットパスロード・歴史の道掘り起しプロジェクト
殿様街道探訪ウォーク

【概要】　継続事業として春と秋の年2回行っている殿様街道探訪ウォークは、今年度春と秋、今年は通常開催にて実施したが、秋は悪天候により、ウォークは中止となり、あずまーるでセミナー・松前神楽観賞・千軒そばを食するというプログラムで開催した。また、8月に千軒そば花観賞会が久しぶりに通常開催された。

【日時】　春：令和5年5月3日（水・祝）・　秋：令和５年10月21日（土）
（参加者　春　50名・秋　50名）　【場所】　福島町千軒岳

【主催】　福島町千軒地域活性化実行委員会・福島町観光協会・福島町教育委員会・福島町

◇千軒そば花観賞会　【日　　時】令和５年8月27日（日）
【場所】福島町千軒町そば畑　【主催】福島町千軒地域活性化実行委員会ほか　【参加者】約300名



殿様街道探訪ウォーク活動（春）



殿様街道探訪ウォーク活動（秋）



千軒そば花観賞会

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなんフットパスロードプロジェクト・歴史の道掘り起しプロジェクト
おもてなしガイドプロジェクト　どうなんサイクルツーリズム推進事業

【概　要】　2023年度の歴史・文化を活かした南北海道ｻｲｸﾙﾂｰﾘｽﾞﾑ推進事業は①サイクリングツアー ②SNS等発信更新 ③関連事業参加・支援・協力 ④環境整備の推進 ⑤散走実施⑥自転車安全走行指導講習会の開催 ⑦サイクルガイド勉強会 ⑧検討会の開催　8項目について実施した。

【日　時】　①9/30～10/2 ②通年 ③4/22・6/25・9/8～9/9・10/15 ④通年 ⑤第1回6/11・第2回8/11・第3回9/23・第4回10/28・第5回11/11中止 ⑥2/9 ⑦6/11・8/11・9/23・10/28・9/30～10/2 ⑧7/7（書面開催）・3/25

【場　所】　①木古内～松前～江差～木古内　②-　③北斗市一円・函館市一円・木古内～松前～江差大沼一周　④基幹コース中心　⑤南北海道地域　⑥函館市中央図書館　⑦・臨時総会函館・第二回役員会函館　⑦南北海道地域・木古内～松前～江差～木古内　⑧第１回（書面）・第2回函館市中央図書館

【参加人数】①４名　②-　③4名・11名・14名　・3名　④-　⑤6名・5名・3名・7名　⑥9名　⑦6名・5名・3名・7名・4名　⑧協議会全員



サイクルツアーガイド強化実施



散走　恵山方面



関連事業支援 ATWS



自転車安全走行指導講習会75

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：おもてなしガイドプロジェクト、どうなんフットパスロードプロジェクト
歴史の道掘り起しプロジェクト、どうなん・追分シーニックバイウェイルート全体

【概　要】当ルートでは毎年ルート全体での啓発事業として総会や全体会議の日程に合わせて学習会を行ってきた。毎年1回はコロナ禍でも行い、第21回学習会をWEBで開催し、2020年予定していたインバウンドの今後の対応を兼ねた報告会を実施。第22回は対面で、旧道を活かした取組。殿様探訪ウォークの事例と松前の旧道について事業の進展について講義をして頂いた。第23回は地域の歴史の再認識ということで江差町の歴史について講演頂いた。今年度からルートでトレイルを行っていくことからトレイルについての学習会となり、実践に繋がる大変有意義なものとなった。今後、ルート活動のメインとしていきたい。



■第24回　学習会　　テーマ：「古道歩きの楽しみ～トレイルロードの再生」
講師：NGO函館自然観察会　代表 鎌鹿 隆美氏
【日時】令和5年5月30日（火）　　【場所】知内町公民館　会議室

◇トレッキングin江差　【日時】令和5年11月19日（日）9：00～14：00
【場所】江差の森（古事の森）



第２４回学習会①



第２４回学習会②



江差町トレイル実施

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：教育体験観光呼込みプロジェクト
ビューポイントパワーアッププロジェクト・いにしえ街道のとりくみ他

【概　　要】江差町いにしえ街道では景観と文化を活かした「花嫁行列」や「江差北前のひな語り」は今年通常開催となった。いにしえ街道を活かした取組として、着物の着付け等体験型観光・イベントづくりを行っている。多様な試みを行っている中、職人技術を活かした木工体験・蔵を活用した散策・百人の語り部等の活動を基盤として、街の個性を活かしたとりくみの広がりを見せている。

■江差いにしえ街道花嫁行列【日時】令和5年5月3日（水・祝）【場所】江差いにしえ街道
【主催】歴まち商店街協同組合ほか
■江差北前のひな語り【日時】令和6年2月６日～3月10日　【場所】江差歴まち商店街一帯
【主催】歴まち商店街協同組合ほか



江差いにしえ街道花嫁行列



江差北前のひな語り



江差北前のひな語り
津軽海峡マグロ女子10周年

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：情報共有・情報受発信
どうなん・追分シーニックバイウェイルート全体

【概　　要】　情報発信の重要性が高まる中で令和２年度更新したHPを活用し、FaceBook等SNSを情報発信を行った。また、どうなんサイクル事業の中でも「チャリ旅みなみ北海道」でHP日本語版・英語版発信。少しづつであるがフォロワーが増えている。どうなん・追分SBWRのフォロワーは今年1年間で101名増加した。昨年の321名に比べると低いが着実に増えてはいる。InstagramやXでの投稿を次年度に向けて考えたい。

【どうなん・追分シーニックバイウェイルートホームページ】
https://www.donan-oiwake-sbw.com/
【どうなん・追分シーニックバイウェイルートFaceBook（フォロワー数1216名）】
https://www.facebook.com/どうなん追分シーニックバイウェイルート-269335286603575/
【チャリ旅みなみ北海道　ホームページ&FaceBook（フォロワー数713名）】
https://cycletourism-southhokkaido.org/　https://cycletourism-southhokkaido.org/en/
https://www.facebook.com/cycletourism.southhokkaido/



どうなん追分SBW HP





チャリ旅みなみ北海道 HP英語版・FB

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：TEPPEN―RIDEの実施
（きた北海道エコ・モビリティ事業の推進）

【概　　要】　広域連携でのサイクリングイベント「TEPPEN-RIDE」は、道北における自転車に関するシンボリックなイベントが必要という考えのもと、天塩川ルートと宗谷ルートを結ぶ約320kmを3日間走り続けるイベントとして、過去6年にわたり継続的に開催してきた。（コロナ禍で開催見送り年あり。）
2023年度は、「ナショナルサイクルルート」を目指し、本年度から連絡会議の事業として開催した。例年よりも国道を多く走るコースに一部変更し、コース変更に伴い新しい立ち寄りスポットや食事箇所も設定し、地域との新しい交流も生まれた。比較的天候にも恵まれ、参加者はルート上のスポットに立ち寄りながら快走していた。次年度も引き続き実施していきたい。
【日　　時】　2023年9月21日～23日　　【参加人数】　7名（帯同スタッフ12名）
【主　　催】　きた北海道サイクルツーリズム連絡会議
【共　　催】　天塩川シーニックバイウェイ、宗谷シーニックバイウェイ、シーニックバイウェイ支援センター

▼今年度のコース





▲休憩ポイント（道の駅）で観光協会がお出迎え


▲ルートからのおもてなしタイム


▲地域食材をいただく懇親会



▲天塩川を眺めながらサイクリング


▲ガイドおすすめのビューポイントへちょっと寄り道



▲ゴール・宗谷岬で記念撮影

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：道内・道外でのPR活動

【概　　要】　札幌や本州など遠方でのシーニックバイウェイのPR活動を実施した。

①道北物産展に出展（札幌）

道北観光連盟が札幌で開催した「道北物産展」に、天塩川シーニックブースを出展。パンフレットなどを置いてシーニックバイウェイについてPRした。

【日　　時】2023年12月15日（金）、16日（土）　【場所】HTB本社1階　onちゃんテラス

②武四郎まつりに出展（三重県）

「北海道」と命名した松浦武四郎の生誕の地である三重県松坂市にて開催された【武四郎まつり】へブース参加。北海道遺産、音威子府村の活動団体nociwとともに、シーニックバイウェイのパネル展示や天塩川流域の商品販売を行うなどPRした。

【日　　時】2024年2月25日（日）　【場所】松浦武四郎記念館、他





▲ブース出展と会場の様子（札幌　道北物産展）





▲会場はテレビ中継もされました（札幌　道北物産展）





▲ブース出展と会場の様子（三重県　武四郎まつり）





天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：インフラツーリズムのモニターツアー協力によるPR

【概　　要】
　インフラ設備（サルンダム等）を観光資源として活用する北海道開発局の「インフラツーリズム」のモニターツアーに協力した。ツアーコースとしての各地の観光資源の紹介・受け入れや、飲料を中心とした地元の特産品を提供することにより、インフラ設備だけではない周辺地域の魅力をツアー参加者へＰＲできた。
【日　　時】2024年9月30日（土）、10月1日（日）　【場　　所】下川町、名寄市、美深町、他



▲「サンルダム」の見学（下川町）



▲植樹体験の様子（下川町）



▲「きたすばる天文台」の見学（名寄市）





▲夕食時には、特産品の試飲・試食を提供。翌日のお土産購入情報とあわせてＰＲ。



▲「北国博物館」では
館長から説明（名寄市）



▲「チョウザメ飼育施設」の見学（美深町）

知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

Far East Hokkaido Scenic Byway

活動名：別寒辺牛湿原清掃活動
（知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議）

【概　　要】羅臼町峯浜町にあるビューポイントパーキング（国道335号）は、知床連山や北方領土、根室海峡を臨むことができる駐車帯である。令和4年度に現地での詳細確認や道路管理や造園業者に協力・レクチャーいただき、植栽の剪定時期や方法についての検討した上で、令和4年10月に剪定・清掃活動を実施した。今年度は剪定後の状況確認と清掃活動を実施した。剪定後の状況は良好と考えられるが、長期的に整えていく必要があることから、２年に1回を予定して、継続して活動を実施する予定である。

【日　　時】令和5年4月12日

【場　　所】峯浜パーキング（羅臼町）

【主　　催】知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議

【参加人数】7名



剪定後の状況確認の様子



剪定後の植栽の状況



集合写真（知床連山、根室海峡）

知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

Far East Hokkaido Scenic Byway

活動名：知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイセミナー
（知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議）

【概　　要】釧路・根室地域の生産空間の維持・発展に向けて、シーニックバイウェイ支援センター代表理事（元北海道開発局長）の和泉氏、筑波大学名誉教授であり、シーニックバイウェイ北海道アドバイザー会議　委員長の石田氏を迎えてのセミナーを実施した。
【日　　時】令和6年2月2日
【主　　催】知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議
【参加人数】162名



セミナー　案内チラシ



遠藤代表　あいさつ



会場の様子



和泉氏



石田氏

知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

Far East Hokkaido Scenic Byway

活動名：エコモビリティで楽しむ！目指せ最東端ツアー
（知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議）

【概　　要】自動車を使わず、サイクリングやカヌー、フットパス、JR花咲線等で移動しながら、移動そのものをアクティビティとして楽しみ本土最東端である納沙布岬を目指すツアーを開催した。

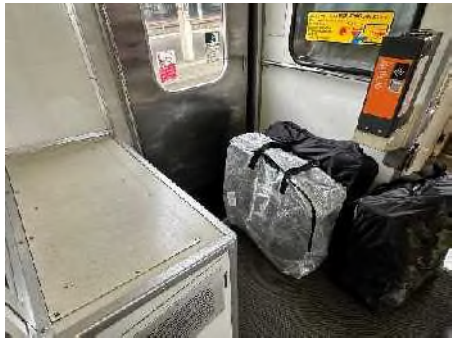
【日　　時】令和5年9月26日～29日

【主　　催】ひがし北海道エコモビリティ推進協議会

構成員：知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルート運営代表者会議



モニター募集チラシ


JR花咲線の輪行


フットパス体験


意見交換会


カヌー体験


トロッコ体験


本土最東端　納沙布岬